

新連載

高校受験のメリット①

影山 佐知子

著者プロフィール

アトリエレモンリーフ主宰

影山 佐知子(かけやまさちこ)



フラワーアレンジ・デザイン・レッスンをライフワークとしている。ナチュラルテイストが基本であるが、独自の発想で工夫をし、型にはまらない花への取り組みが読売新聞で紹介された。レッスンの他にギフト、ブライダル、店舗ディスプレイまで幅広くこなす。

フラワー関連書籍。花の専門誌「花時間」に掲載。同誌リースコンテスト、新浦安ブライトンホテルのコンテストにて総支配人賞、準グランプリ受賞など多数受賞。

〈ホームページ〉

<http://www.lemonleaf.jp/>

高校1年と大学2年の母親

子ども二人はSAPIX中学部OB

SAPIXホームページに2011年「保護者体験記」掲載中

連載にあたって

こんにちは。はじめまして。

今号からこのページを担当いたします影山佐知子です。

どんなときも、親は自分の子に良かれと思う選択肢を探し、選ばずにはいられないものです。とくに受験においては、すこしでも良い結果を願って、精一杯の助言や応援をしたいのが親心です。私自身も2007年、2011年と子どもの高校受験を経験しました。

その応援のためにも、私たちは有益な受験情報を入力しなければなりません。情報源としては、次の2種類が考えられます。

ひとつは塾の先生、教育評論家、その道のプロたちのアドバイスです。専門家集団なので重みと説得力がありますが、親の立ち位置とは違います。例えてみれば、川岸で、受験という川を必死に泳いでいる人たちを見守り、データをもとに的確に情報を発信している方々です。その川は毎年、毎年ゴールを目指して親子が泳いでいく川。前方の流れやうねり、天気の状態など、泳いでる渦中の人間には知るよしもありません。だからこそ、丘にあがって、タイムをはかり、誘導し指針を示す存在は絶対不可欠なのです。

そしてもうひとつの情報は、実際に泳いできた体験者のメッセージです。いわば産直情報です。今しがた経験してきた人のホットな情報は自分の受験生活に直結しています。

自分を振り返っても、子どもの受験期はどこか気持ちのはりつめており、自然体で聞ける保護者同士の会話は、ひときわ楽しく、リラックスできたことをよく覚えています。

そして私からお届けするこの、「高校受験のメリット」は、後者に属します。

実は、私自身、先輩保護者のある方と出会わなければ、子供たちの進路が変わってしまっていたかもしれないくらい、大きなヒントと影響をうけました。不安や苦労は、お互い生身に響くように理解しあえます。同胞だからこそ、前置きぬきでストレートに伝わるものが確か

にあります。不思議なことに、そんなスタンスで聞いた話のほうが、心にしみて、安堵し、冷静に、今の選択(塾選び)ができたことも事実です。

情報も縁が運ぶもの。一行でも、みなさんの心にとどまり、ご家族の成功につながる一端を担えたら、こんな嬉しいことはありません。

「高校受験のメリット」と題したのは、中学受験は、トライできるはずの高校受験の機会を奪うというリスクが隠れていることもお伝えしたかったからです。

高校受験を目指すお子さんをお持ちの方、あるいは、中学受験が高校受験か迷われている方に、お気軽にお読みいただけたらと思います。

お子様の成功としあわせを心から祈っております。

オリジナルの成功をつかもう

子どもの数が多く経験が豊富であれば、受験のときも迷いや不安も少ないでしょう。しかし少子化の昨今、子育ての経験は平均1回から2回、そう考えると、受験に慣れている親などおらず、だれもが初心者マークです。多くの人が自分の経験だけでは心もとなく、情報を求めることとなります。

そんな状況を察するかのように、出版業界では、受験克服本、お受験合格への本などが後を絶ちません。なぜ、その手の本はとぎれることがないのでしょうか。

逆説的ではあるけれど、おそらく、成功できる王道など存在しないからだろうと思います。それらの本を読んでも、みなさんが成功していたら、次のサクセスストーリーやノウハウに注目が集まることはないでしょう。

一般に人生のしあわせをつかむための本や、しあわせを呼ぶ何々の法則といった、この手の本もそうですね。みんなが真似て、本当にしあわせになっていたら、もう、そのような本は必要なくなります。しかし、今もなお、自己啓発や克服本の新刊が途絶えることはありません。常にしあわせを求めてやまない、ニーズがあるからでしょう。

つまり、成功した人の本をいくら読んでも、決してその人になりかわることはできないということです。成功

者に憧れる気持ちは誰にでもあります、成功のコピーはできません。第一、その人になりかわるより、みなさんは、みなさん自身のお子さんの、オリジナルのしあわせをつかみたいはずですよ。

では、そのためにはどうしたらいいのでしょうか。具体的なポイントとして、自分が子どもを見失わないこと、子どもとの適切な距離感が重要になります。そのことについては、次号で詳しくお伝えしたいと思います。それではまた!

保護者目線から

秋は学校説明会の季節ですね。お子さんを通わせている学校かを見分ける方法のひとつに、兄弟や姉妹で通学させている家庭があるかどうか、みてみましょう。これは良い塾選びにも当てはまります。お子さんの好みもあるとは思いますが、少なくとも、上の子でなんらかの問題を感じた人は、下の子まで同じところに行かせることは絶対にしません。逆に兄弟で通っている生徒が比較的多いところは親の信頼度の高い学校や塾といえるでしょう。

レモンリーフ通信

仕事で疲れて帰ってきた夜、コップにさしていた一輪の花が「お帰り〜」ってしてくれたような、ちょっとホッとするようなそんな気がしたことってありませんか?

不思議なことですが植物も人間も天然の生き物、お互い波動を感じあっている瞬間なのです。日ごろ、テレビやパソコンや携帯、無機質なもののばかりに囲まれていると疲れます。時には自然の癒しを身近におきましょう。この時期、秋の公園で拾ったどんぐりや松ぼっくりをさりげなく飾っておくのも素敵ですよ!お部屋に素朴な温かさが広がりますよ。